

交

い

かいじあむ通信

kai

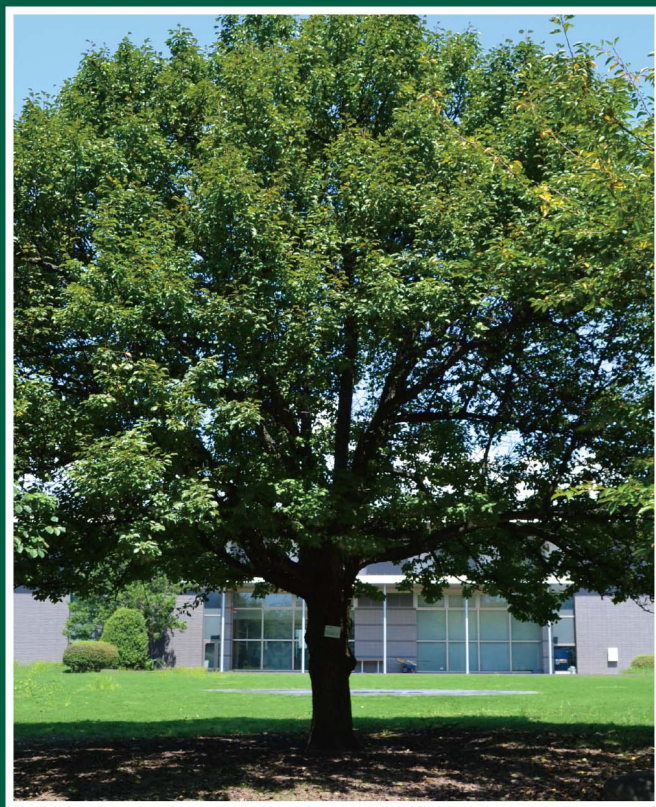
第62号

2025年9月5日発行
山梨県立博物館

シンボルツリー
「ヤマナシの木」

山梨県立博物館

Yamanashi Prefectural Museum





令和 7 年
10 月 11 日 土
~ 12 月 1 日 月



明治 45 年 (1912) の東京電燈駒橋発電所 (大月市)

若尾逸平：『若尾逸平』(大正 3 年) より、早川徳次：『東京地下鉄道史 乾』(昭和 9 年) より、雨宮敬次郎：国立国会図書館「近代名士之面影 第 1 集」より



こうしゅうざい ばつ
「甲州財閥」ってどんな
ひとたちか知っていますか？
かれらは山梨の出身で、さまざまな
「日本で最初の〇〇」を実現したひとびとです。
みなさんの近くにも、甲州財閥がはじめた
「〇〇」が、きっとあるはずです。



電気のある
生活は・・・



明治時代、山梨は大「電力」県でした。山梨の豊富な水はたくさんの電力を生み出し、東京に電力を供給した会社も甲州財閥の経営。東京の人からみれば、「山梨＝電力」だったのです。



東洋唯一東京地下鉄道絵はがき (個人蔵)



パンやパスタが
食べられる生活も

時代が江戸から明治にかわって、さまざまな西洋文化が入ってくるなかで、「これからの時代は小麦粉だ」と気づいた人物がいました。わたしたちのあたりまえの食生活も、甲州財閥がその源流に。



身延線建設功労者記念碑 (身延町)



根津嘉一郎像 (山梨市)

東京の交通は大混雑で大変な状況なのに、地盤がわるいため、地下鉄をつくるのは「不可能」といわれていました。
そこにあらわれた
「地下鉄の父」は・・・



日本で
最初の
地下鉄



民間機械製粉業発祥の地碑 (東京都江東区)

山梨には
◆◆◆
甲州財閥の遺産が
たくさんあります
レガシー
「鉄道王」のあの人物の銅像、身延線をつくった 6 人の人々を記念する碑など・・・甲州財閥展とともに、地元にあるかれらの遺産をさがしてみてください。

学芸員 おすすめの一品

収蔵資料の見どころを
ご紹介します



開館 20 周年をお祝いで、 学芸員たちの「推し」を 発表します

学芸員の推し！ 歴史(古代・中世)担当

いちかわ けもんじょ たけだ はるのぶしよじょう
市河家文書 武田晴信書状
弘治 3 年 (1557)

武田氏に仕えた国衆の家に伝わった
古文書。「山本菅助」の名前が書か
れていることで有名。

この期間に会える！ 2025 年 10 月 22 日～12 月 15 日



勤助じゃなくて
菅助がいた！

学芸員の推し！ 美術(彫刻)担当

ふ どうみょうおうりゅうそう
不動明王立像
天明 9 年 (1789)

「微笑仏」で有名な
木喰上人初期の作品。

笑ってばかりも、
いられない



鼻先が
ミイラに
なってる！

扇状地に
水を届ける！

学芸員の推し！ 古環境担当

とう こつ
ニホンオオカミ頭骨

現存する数少ない
ニホンオオカミ標本のひとつ。

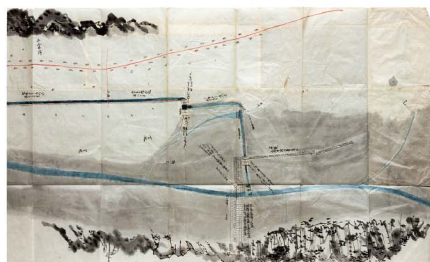


学芸員の推し！ 歴史(中世)担当

とくしま ぜきあら ち ず
徳島堰鹿地図
慶応 4 年 (1868)

西郡地域へ水を届ける一大プロジェクトと
なった徳島堰の、全長約 17km にわたる
水路を詳細に描いた図。

この期間に会える！ 2025 年 10 月 22 日～2026 年 2 月 16 日



(部分) 写真提供：サンニチ印刷

学芸員の推し！ 保存科学担当

か い こく すいしやう め がね
甲斐国水晶眼鏡
明治 13 年 (1880)

山梨県産の水晶が使われた眼鏡。
山梨では水晶の採掘と加工が盛ん
におこなわれていた。



レンズが

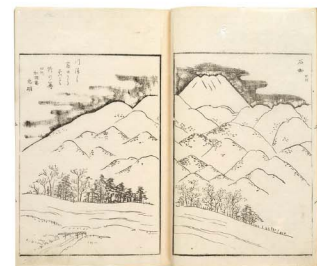
水晶

学芸員の推し！ 美術(絵画)担当

ひやくふ じ かむむら みんせつ
『百富士』河村岷雪
明和 4 年 (1767)

各地から見た富士山の姿をまとめた
もの。富士山の絵画史を語る上では、
欠かせない資料。

この期間に会える！ 2025 年 8 月 20 日～10 月 20 日



葛飾北斎も
参照した！

学芸員の推し！ 民俗担当

甲府柳町二丁目の道祖神祭礼用具より
し じん びやっこ
「四神」のうち白虎
江戸時代後期か

飾った時に下から見上げることを想定
し、肩を誇張した造形。猫が枕元に座っ
た姿と表情に似てかわいい。

この期間に会える！ 2025 年 12 月 17 日～2026 年 2 月 16 日



超絶猫背！

目が回りそう…

学芸員の推し！ 考古担当

うず まきもん ど き
渦巻文土器 縄文時代中期

中部高地の縄文時代中期の芸術性の高さを表す
逸品。表面全体に描かれた渦巻文様は必見。

常設展「自然の森の中で」で出会うことができます。



桂野遺跡渦巻文土器
笛吹市教育委員会蔵
撮影：藤森武

学芸員の推し！ 歴史(近現代)担当

ミヤイリガイ(の樹脂固めパネル)

地方病をひきおこす寄生虫のすみかとな
った貝。人間の感染対策のために
駆除され絶滅危惧種に。

常設展「共生する社会」で出会うことができます。



さわっても
大丈夫！

常設展 テーマ展示

県立博物館では、約2か月ごとにテーマを変えて、常設展の展示替えをしています。



世界遺産 富士山

2025年8月20日(水)～10月20日(月)

日本が世界に誇る富士山に関する資料をご紹介します。

20周年 みんなの「推し」資料

2025年10月22日(水)～12月15日(月)

博物館が収集したさまざまな資料の中から、学芸員や皆さんの「推し」をご紹介します。

招福!かいじあむのお正月

2025年12月17日(水)～2026年2月16日(月)

お正月にちなみ、「めでたい」「ありがたい」資料を取り揃えます。年の初めは博物館で招福!

山梨の春は、桃と桜と信玄公

2026年2月18日(水)～4月20日(月)

桜舞う春の中、山梨ゆかりの戦国武将、武田信玄にまつわる資料をご紹介します。

企画展・シンボル展 2025.10～2026.3

開館20周年記念特別展

甲州財閥展

2025年10月11日(土)～12月1日(月)

電力や鉄道など「わが国最初の〇〇事業」を数多く手掛け、私たちの生活の基盤を築いた甲州財閥。本展では、甲州財閥と呼ばれる人々の足跡を紹介し、その業績が現在に与えた影響を明らかにします。また、現在の私たちへの示唆となるような、彼らの活躍の原動力となった視点や哲学にも迫ります。



若尾逸平一代図屏風 (南アルプス市立美術館蔵)

シンボル展

INDEN 一受け継ぐ手わざ、異国の薫りー

2026年1月2日(金)～2月23日(月)

遠く奈良時代、海を越えて日本にもたらされた装飾華の技法は、時を超えて現代に受け継がれました。「印伝」製品は伝統的工芸品(昭和62年)および山梨県郷土伝統工芸品(平成6年)に指定され、山梨の土産品としても人気を博しています。この展覧会では、「印伝」の技法や歴史、魅力についてご紹介します。



印伝引札 (当館蔵)

開館20周年記念特別展

山梨の禅宗文化

2026年3月14日(土)～5月6日(水)

鎌倉時代以降、山梨で展開した宗教の中でも、禅宗は蘭溪道隆が来甲し、室町幕府で重用された夢窓疎石やその弟子たちが活躍するなど、その関わりの深さで知られています。本展では、禅僧らがもたらした教えや、禅宗に関わる書画・彫刻などの芸術作品を通して、山梨で展開した豊かな禅宗文化についてご紹介します。



国宝「達磨図」(向嶽寺蔵)
展示期間:
2026年3月14日(土)～23日(月)(予定)

イベントのご案内 2025.10～2026.3

各イベントの詳細は当館ホームページなどでご確認ください。

● ボランティアによる お庭の見どころガイド

四季折々の博物館のお庭を散策します。

開催日 10/18、11/15、12/20、1/17、2/21、3/21

時 間 13:30～14:30

● かいじあむ古文書講座

初めて古文書を学ぶ方のための講座です。

開催日 10/25、2/28

時 間 13:30～15:00

申 込 055-261-2631

● 古文書整理体験教室 定員10名

開催日 12/11

申 込 055-261-2631 *10/11より受付を開始します。

● 古文書相談日

お手持ちの古文書についてご相談ください。

開催日 11/16、1/18、3/15

時 間 10:00～13:00

*古文書の全文解読、鑑定など、お受けできない内容もあります。

*申込不要ですが、事前のご連絡があれば対応がスムーズです。(055-261-2631)

⊕ あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば

展示や歴史を楽しみながら学べる体験イベントです。

常設展スルーガイド

常設展のガイドツアーです。

土曜日(交互に開催) 11:00～11:30

「あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば」と「常設展スルーガイド」は交互に開催いたします。詳細な日程はホームページなどでご確認ください。

● かいじあむ子ども工房

博物館ならではの体験や工作ができます。

開催日 11/8、2/14

● 館長トーク

当館の守屋正彦館長による講座です。

開催日 11/22、1/24、3/28

時 間 13:30～15:00

□ その他イベント

・かいじあむの秋まつり 11/20

・かいじあむのお正月 1/3

2025年

10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

甲州財閥展 10/11～12/1

2026年

1月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

3月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

INDEN 一受け継ぐ手わざ、異国の薫りー 1/2～2/23

山梨の禅宗文化 3/14～5/6

- 休館日
- 館長トーク
- 古文書講座
- 古文書整理体験教室
- 古文書相談日
- 子ども工房
- お庭の見どころガイド
- その他イベント

日程や内容は事情により変更になることがあります。

かいじあむトピックス

山梨県立博物館の旬な
話題をお届けします



20年の その先へ



展覧会一覧

県立博物館(かいじあむ)は、令和7年(2025)10月15日にハタチの誕生日を迎えます。これを記念し、当館にまつわる思い出などを募集しました。

ほかにも、「推し」の展覧会や資料にもご投票いただきました。また、未来のかいじあむの姿を自由に想像(創造)し、皆様に夢あふれる絵を描いていただいたほか、20周年記念誌の表題文字『ハタチのかいじあむ』のデザイン募集にも、心のこもったご応募をたくさんいただきました。

開館20周年を記念して、エントランスには特設ブースを設けました。開館当初からの展覧会一覧を掲示し、かいじあむの歩みを一望できるようにしております。

これまで皆様から寄せられたご支援とご厚意は、当館の歩みを支える大きな力となっております。その思いの一つひとつを大切に受け止め、これからも気持ちを新たに博物館の事業に取り組んでいきたいと思ひます。

\\ たくさんのお客様が応募用紙を
書く姿が見られました。 //



特設ブース

利用案内

開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)

休館日 火曜日(祝日の場合はその翌日)

*9/17~19、12/13、12/24~1/1は休館。12/23は開館。

観覧料 常設展:一般520円、大学生220円

*高校生以下の方、65歳以上の方、障害者の方(およびその介護をされる方)は無料です。

*企画展には別途観覧料が必要です。県外在住の65歳以上の方は企画展観覧料が必要です。

*割引料金等につきましてはホームページなどでご確認、またはお問い合わせください。

かいじあむ通信「交い」第62号

〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田1501-1

発行日:2025年9月5日

Tel:055-261-2631 Fax:055-261-2632

編集・発行:山梨県立博物館

E-mail:kenhaku@pref.yamanashi.lg.jp

URL:http://www.museum.pref.yamanashi.jp



山梨県の古い国名「甲斐国」の語源は街道と街道の結節点を意味する「交ひ(かい)」であるという説があります。山梨県立博物館が「甲斐」の博物館にふさわしく、人々や情報の交流の拠点となることを願ってこの名前をつけました。

山梨県立博物館
ホームページ

